



平成 24 年 7 月 27 日

国土交通大臣

羽 田 雄 一 郎 様

○ J R 気仙沼線の復旧・復興に係る要望書

○
気 仙 沼 市

南 三 陸 町

要 望 書

多くの尊い人命が奪われ、生活基盤や産業基盤に壊滅的な被害をもたらした東日本大震災から1年4ヶ月が過ぎ、本地域においては、一日も早い復興に向けて、基盤整備、産業再生・雇用創出、住宅再建などの各種事業に行政、住民、企業等が一丸となって取り組んでいるところです。

被災したJR気仙沼線については、これまでJR気仙沼線復興調整会議において、鉄道での復旧と代替交通の確保等について意見交換が行われ、去る5月7日に開催された第5回会議では、鉄道での復旧を前提とした上で、JR気仙沼線のBRT（バス高速輸送システム）による仮復旧が合意されたところであり、現在、東日本旅客鉄道株式会社において8月20日の暫定運行に向け、準備が進められております。

今後は、JR気仙沼線の鉄道での本格復旧が最重要の課題となっておりますことから、次のとおり要望いたしますので、地域の実情を御賢察の上、被災地及びJR気仙沼線の復旧・復興に向けた万全の取り組みをされますよう、切にお願い申し上げます。

なお、JR気仙沼線、JR大船渡線などの早期復旧を求める「東日本大震災により被災したJR各線の早期復旧を求める署名」には40万人を超える多くの方の署名が集ったことを申し添えます。

1 鉄道による復旧・復興への国による財政支援について

東日本大震災による大津波により、線路や路盤の流出等、甚大な被害を受けたJR気仙沼線は、通学・通勤や通院等、沿線住民の生活面の重要な足であるとともに、観光等産業面においても復興に必要不可欠な路線であり、被災地の復興の原動力となる鉄道の早期復旧が望まれております。

一方で、東日本旅客鉄道株式会社では、地元自治体のまちづくりに合わせたルート変更や高盛土工法、高架等の復旧工法となる場合、事業費が莫大となることから、国に対し財政的支援を求めているところであり、鉄道復旧に対する国の支援が是非とも必要であります。

つきましては、東日本旅客鉄道株式会社が行う鉄道の復旧に対する国による財政支援について格別の御配慮をお願い申し上げます。